入学年度・開講所属	2025(R7)・工学部		科目ナンバリング			
科目名(英訳)	地球環境科学(Environmental Earth Science)　(EEP-21410J1)					
担当教員	大野 浩					
科目区分		対象学年	学部2年次	単位数	2単位	
講義形式	講義	受講人数	70名	開講時期	後期	
キーワード	地球環境問題、地球温暖化、気候変動、オゾン層、砂漠化、エネルギー問題					
授業の概要・達成目標	授業の概要 　複雑な地球環境システムの見方・とらえ方について学び、特に人間活動との関わりについて焦点をあてて解説する。近代の公害問題、オゾン層破壊問題、地球温暖化問題、エネルギー問題などについて、その原因と対策を考える。 授業の到達目標及びテーマ 1.地球環境を理解する上での基礎知識を習得する。…2(EP)-A 2.地球の構造、大気・水・物質循環、生態系、資源分布について理解する。…2(EP)-A 3.地球環境に影響を及ぼす人類の活動について学び、その問題点について論理的に説明できる。…2(EP)-A					
授業内容	第1回:地球環境科学の概要と地球システムの概念 第2回:地球システムと地球内部のしくみ 第3回:地球環境をみる 第4回:地球の大気と気候 第5回:地球の物質循環 第6回:生態系と生物多様性 第7回:地球の資源 第8回:資源・エネルギー問題 第9回:地球大気の異変 第10回:水質汚濁と土壌汚染 第11回:食品と環境 第12回:廃棄物問題とリサイクル 第13回:経済と環境 第14回:寒冷地環境(1) 第15回:寒冷地環境(2) 定期試験					
授業形式・形態及び授業方法	講義形式で実施する。					
教材・教科書	地球環境学入門 第3版, 山崎友紀(著),講談社					
参考文献						
成績評価方法及び評価基準	定期試験(70%)と課題レポート(30%)の成績の合計(100点満点)によって判定し、60点以上の者を合格とする。					
必要な授業外学修	予習復習と課題レポート作成のための時間外学修が必要です。					
履修上の注意	予習復習と課題レポート作成のための時間外学習が必要です。					
関連科目(発展科目)	環境学概論、ガスハイドレート概論、雪氷学、気象学、氷物性概論、氷海環境工学、雪氷防災工学に関連する。			実務家教員担当	ー	
その他 学習・教育目標との関連	この単位の取得により、環境防災工学コースの学習・教育到達目標の専門知識2(EP)-Aの能力が向上する。					
その他 連絡先・ｵﾌｨｽｱﾜｰ	大野　浩(h_ohno@mail.kitami-it.ac.jp)					
その他 コメント						